



風水害

台風や大雨への備え

大雨や強風などは事前の準備次第で被害を最小限に抑えることができます。また、避難が必要になった場合でも落ち着いて行動できるよう備えておきましょう。

雨どいの修繕、雨戸の補強、自宅や周辺の側溝などの確認を行うとともに、強風によって鉢植えや物干しざおなどが飛散しないよう日頃から点検しておきましょう。

風水害への備え（確認しましょう）

風が強くなるおそれのある時

- ☐ ごみ箱や植木鉢、プランター、物干しざおなどは室内に入れるか、飛ばないように固定する
- ☐ 庭木にはそえ木をしておく
- ☐ 窓ガラスは養生テープなどで補強する

窓

- ☐ 窓枠のがたつきはないか
- ☐ 雨戸のがたつきはないか
- ☐ 窓枠を補強する

屋根・雨どい

- ☐ 不安定なアンテナは補強する
- ☐ トタンがめくれていないか
- ☐ 瓦のひび割れ・はがれがあれば直しておく
- ☐ 雨どいにたまったゴミや木の葉をとり除き雨水の排水をよくしておく

外壁

- ☐ モルタルの壁に亀裂はないか

板塀

- ☐ 板塀に腐食や浮きはないか
- ☐ 板塀には支柱を立てる

ブロック塀

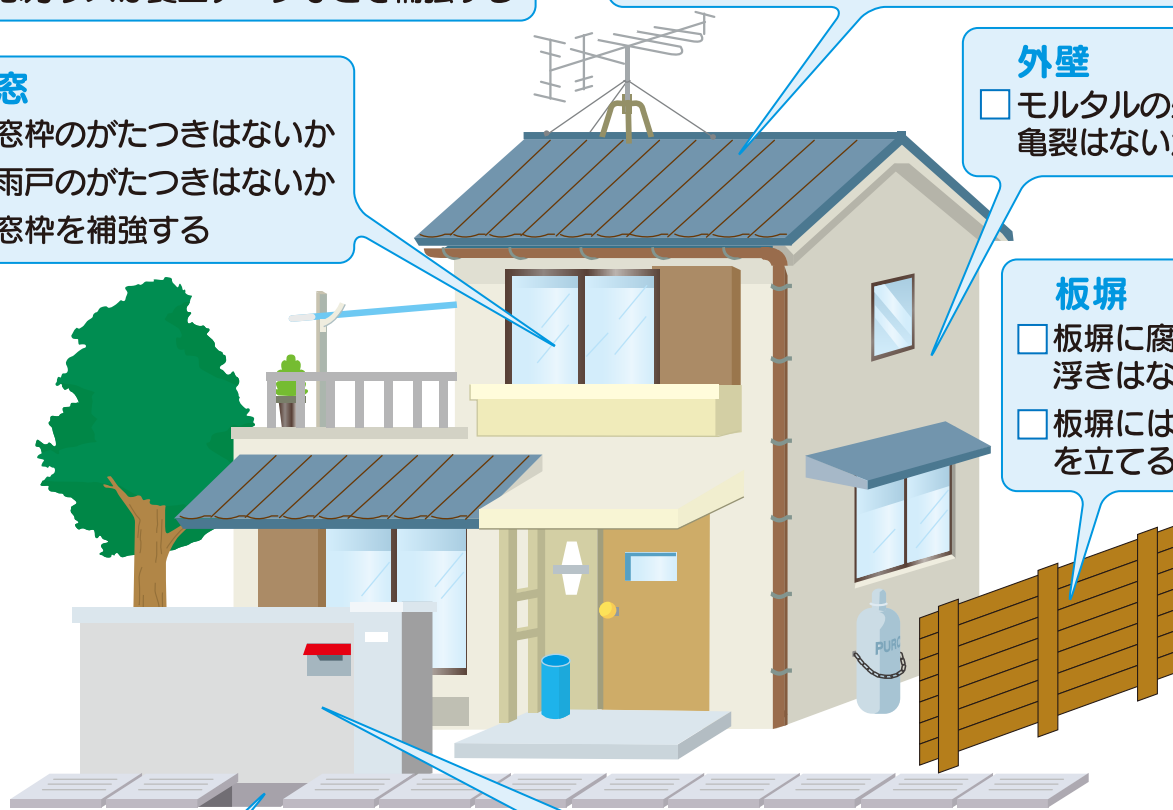
- ☐ 傾きやひび割れ、破損箇所はないか
- ☐ できれば安全な生け垣などにする

排水溝

- ☐ 側溝のゴミや土砂をとり除き、雨水の排水をよくしておく
- ☐ 雨水ますの目皿を掃除しておく

その他

- ☐ プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定する
- ☐ 商店などでは看板のぐらつきにも注意する



大雨・洪水の気象情報

大雨・洪水による災害の起こるおそれがあると予想された際、その災害の程度に応じて「注意報」・「警報」・「特別警報」が福岡管区気象台から発表されます。最新の情報に注意して、早め早めの行動を心がけるとともに、普段から避難所等や避難経路を確認しておきましょう。

気象情報

大雨の数日～
約1日前



大雨の
半日～数時間前



大雨の数時間前
～2時間程度前



数十年に一度の
大雨

気象庁の情報

警報級の
可能性

大雨に
関する
気象情報

注意報

警報に
切り替える
可能性が
高い
注意報

警報

特別警報

指定河川
洪水予報

氾濫
注意情報

氾濫
警戒情報

氾濫
危険情報

氾濫
発生情報

警報の
危険度分布

注意
(注意報級)

警報
(警報級)

非常に危険
命に危険が及ぶ災害が
いつ発生しても
おかしくない

極めて危険
命に危険が及ぶ災害が
すでに発生していても
おかしくない

数十年に一度の
これまでに
経験したことが
ないような異常事態

記録的短時間大雨情報
土砂災害警戒情報

市町村の対応

- ・ 心構えを一段高める
- ・ 職員の連絡体制を確認
- ・ 今後の気象状況に注意

第1次防災体制
(連絡要員を配置)

第2次防災体制
(避難準備・高齢者等避難開始の
発令を判断できる体制)

土砂災害警戒区域等に
避難準備・高齢者等避難開始
(夜間に大雨警報(土砂災害)発表の可能性が高い場合)

避難準備・高齢者等避難開始
(洪水警報の危険度分布については、「警戒」が
出現し、かつ一定の水位を越えた場合)

第3次防災体制
(避難勧告の発令を
判断できる体制)

避難勧告
(洪水警報の危険度分布については、「非常に
危険」が出現し、かつ一定の水位を越えた場合)

第4次防災体制
(災害対策本部設置)

避難指示(緊急)

- ・ 特別警報の住民への周知
- ・ 避難指示(緊急)等の
対象範囲を再度確認

住民の行動

災害への心構えを高める



気象情報やハザードマップを
改めて確認



最新の情報を
こまめに確認

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、
避難準備が整い次第、避難を開始
高齢者等は速やかに避難

(夜間に大雨警報(土砂災害)発表の可能性が高い場合)

土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇の
おそれがある河川沿いにお住まいの方は、
避難準備が整い次第、
避難を開始高齢者等は
速やかに避難

避難準備が整い次第、
避難を開始高齢者等は
速やかに避難



速やかに避難

- ・ 危険な区域の外の少しでも安全な
場所に速やかに避難



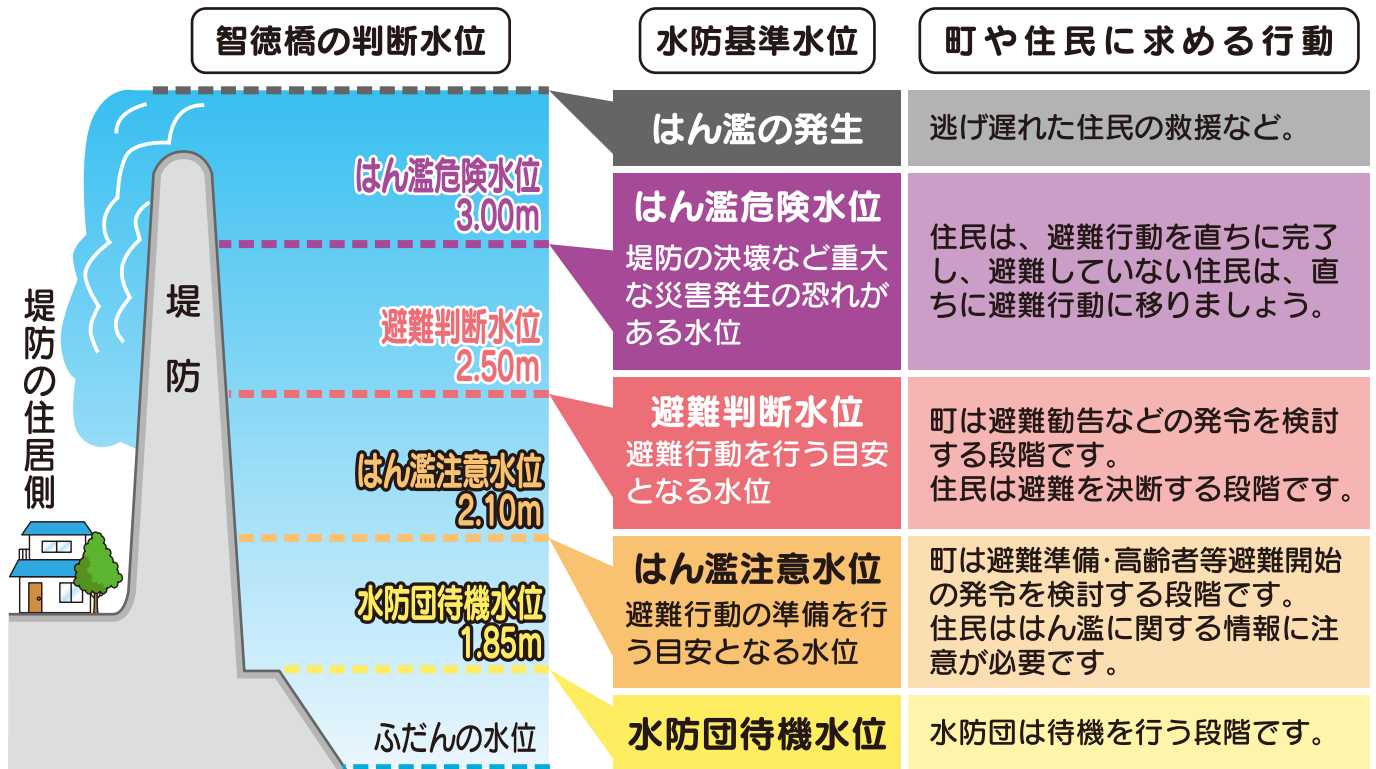
避難を完了

- ・ 災害がすでに発生して避難が困難と
なっているおそれがあり、この状況に
なる前に避難を完了しておく

危険な区域からまだ避難できていない方は、
命を守るための最前の行動をとる

- ・ 災害が起きないと思われているような
場所でも危険度が高まる異常事態で
あることを踏まえて対応する

広川（智徳橋）水防基準水位



浸水への備えと対策

◆浸水を止める資材を準備しておきましょう

浸水が浅い場合には、浸水を止める資材（土のうなど）を置くことが有効です。あくまでも小規模な水害で、初期の段階で行うものです。危険を感じる前に早めに避難してください。



◆大雨時の自動車での移動に注意しましょう

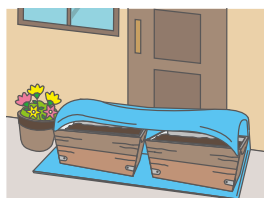
大雨時の自動車での移動は危険です。無理に移動せず、少しでも高いところへ避難しましょう。また、水かさが増すと、水圧でドアが開かなくなります。



◆簡易水防工法 ご家庭にあるものを使って家屋への浸水の流入を防ぐ方法です。

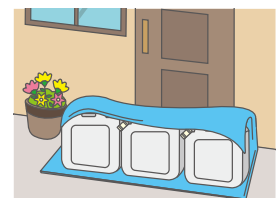
プランターとレジャーシートの組み合わせ

土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。



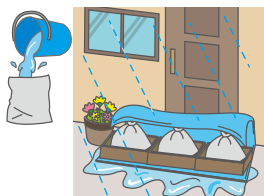
ポリタンクとレジャーシートの組み合わせ

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。



水を入れた袋とダンボール箱の組み合わせ

ゴミ袋等を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



長めの板、土のう、レジャーシートの組み合わせ

テーブルやボードなどの長い板状のものを出入口に設置することで、浸水を防ぎます。

